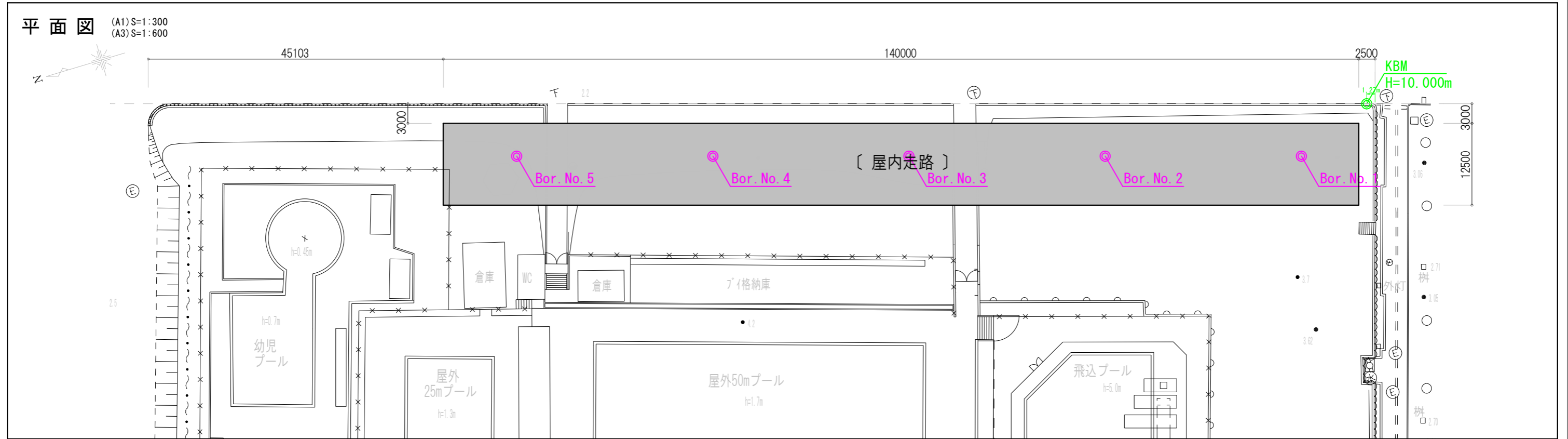


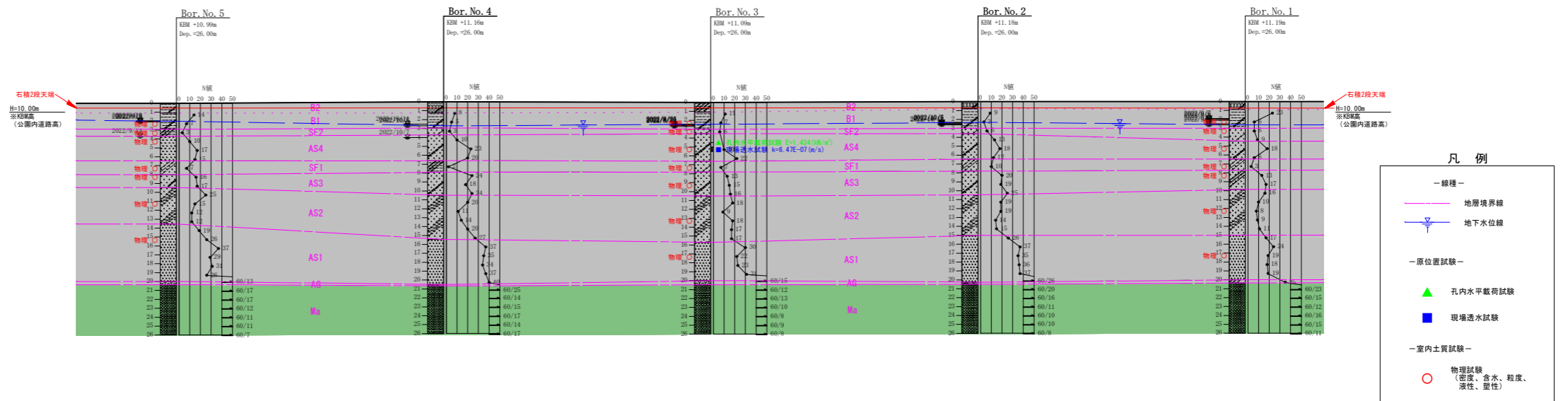
図- 屋内走路平面図・地質断面図



地質断面図 (A1) S=1:300 (A3) S=1:600

地質層序表

地質区分	記号	土質・岩種	平均値 (min-max)	層厚 (m)
第四紀 完新世	第1盛土 (ローム主体)	E2	砂混りローム 礫混りローム 礫混り砂質粘土	3.0
	第2盛土 (礫混り粘土 ※旧岩跡)	B1	礫混り粘土	5.8 (3 - 7)
	第2細粒分質砂層	SF2	シルト混り砂 砂質シルト	5.5 (3 - 9)
	第4砂質土層	AS4	礫混り砂 細~中砂	14.9 (6 - 23)
	第1細粒分質砂層	SF1	シルト質砂 シルト混り砂 砂質シルト	5.8 (2 - 10)
	第3砂質土層	AS3	礫混り砂 礫質砂	18.2 (13 - 25)
	第2砂質土層	AS2	火山灰質砂	15.5 (8 - 27)
	第1砂質土層	AS1	細砂	29.0 (17 - 40)
	砂礫層	AG	砂礫 礫質砂 砂礫質玉石	42.3 (27 - 50)
第三紀 後鮮新世 中新世	基礎岩 (宮崎層群)	Mh	砂岩泥岩互層 (泥岩優勢)	144.4 (91 - 257)



業務名	令和4年度第161-イ-B号宮崎県総合運動公園 屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託
図面名	屋内走路平面図・地質断面図
作成年月日	令和 5年 2月
縮尺	図示 図面番号 /
会社名	(株)国土地質調査事務所
事務所名	宮崎県 宮崎

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度第161-イ-B号 宮崎県総合運動公園屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	宮崎市大字熊野	北緯	31° 49' 34.11"
発注機関	宮崎県営繕課	調査期間	2022年 8月 31日 ~ 2022年 9月 8日	東経	131° 26' 52.29"
調査業者名	株式会社国土地質調査事務所 電話 0985-29-8323	主任技師	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	現場代理人	甲斐重隆 地質調査技士 登録番号: 第22436号
コア鑑定者	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	ボーリング責任者	中嶋一夫 地質調査技士 登録番号: 第21404号		
孔口標高	KBM 11.19m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
総削孔長	26.00m	使用機種	試錐機 東邦製DM-03L型 エンジン ヤンマー製TF90M	ポンプ	三菱製EP-161GB

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	採取方法		
1	10.29	0.90	砂混じりローム	砂混じりローム		暗褐色				盛土。Φ2~10mmの風化ボラ、砂岩礫含む。植物根、木片混入		23	1.15	7	8	8	23	300					
2			礫混じり粘土	礫混じり粘土		灰褐色		rc3		盛土。低~中含水で粘性中~高位 Φ50mm以下の宮崎層群風化礫 (岩砕) 混入		6	2.15	2	2	2	6	300	2.15	○	密度含水沈降液性悪い		
3	8.19	3.00	シルト混じり砂	シルト混じり砂		灰		rd2		細砂主体 上部にシルトを不均一に混入する Φ数mmの礫、軽石混入		6	2.45	2	2	2	6	300	2.45	○			
4	6.74	4.45	礫混じり砂	礫混じり砂		灰		rd3		細~中砂主体 Φ2~20mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する 貝殻片混入		9	3.15	2	2	2	6	300	3.15	○			8/31
5			シルト質砂	シルト質砂		灰褐色		rd1		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		3	3.45	2	3	4	9	300	3.45	○			
6	4.74	6.45	礫質砂	礫質砂		灰		rd3		細~中砂主体 Φ2~20mm、max φ40mmの円~亜角礫を混入し、一部に密集する Φ5mm以下の軽石を不均一に混入し、一部に密集する 貝殻細片混入		13	4.45	6	6	6	18	300	5.15	○	ふるい		
7			火山灰質砂	火山灰質砂		灰褐色		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		6	5.15	2	2	2	6	300	5.45	○			
8	3.49	7.70	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		17	6.15	2	2	2	6	300	6.15	○			
9	1.34	9.85	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細~中砂主体 Φ2~20mm、max φ40mmの円~亜角礫を混入し、一部に密集する Φ5mm以下の軽石を不均一に混入し、一部に密集する 貝殻細片混入		16	6.45	1	1	1	3	300	6.45	○			
10			火山灰質砂	火山灰質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		10	7.15	1	1	1	3	300	7.15	○	ふるい		
11			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細~中砂主体 Φ2~20mm、max φ40mmの円~亜角礫を混入し、一部に密集する Φ5mm以下の軽石を不均一に混入し、一部に密集する 貝殻細片混入		13	7.45	4	4	5	13	300	7.45	○			
12			火山灰質砂	火山灰質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		8	8.15	4	4	5	13	300	8.15	○	ふるい		
13			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		9	8.45	6	6	5	17	300	8.45	○			
14			火山灰質砂	火山灰質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		11	9.15	6	6	5	17	300	9.15	○			
15	-3.81	15.00	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		16	9.45	6	5	5	16	300	9.45	○			
16			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		17	10.15	6	5	5	16	300	10.15	○			
17			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		10	10.45	4	3	3	10	300	10.45	○			
18			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		8	11.15	2	2	4	8	300	11.15	○	ふるい		
19			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		9	12.15	2	2	4	8	300	12.15	○			
20	-8.81	20.00	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		11	12.45	2	3	4	9	300	12.45	○			
21	-9.16	20.35	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		11	13.15	2	3	4	9	300	13.15	○			
22			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		17	13.45	3	4	4	11	300	13.45	○			
23			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		11	14.15	3	4	4	11	300	14.15	○			
24			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		17	14.45	6	5	6	17	300	14.45	○			
25			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		24	15.15	6	5	6	17	300	15.15	○			
26	-14.81	26.00	砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		19	16.15	8	7	9	24	300	16.15	○	ふるい		
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		19	16.45	6	5	8	19	300	16.45	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		18	17.15	5	6	7	18	300	17.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		18	17.45	5	6	8	19	300	17.45	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		19	18.15	5	6	8	19	300	18.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		19	18.45	5	6	8	19	300	18.45	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		35	19.15	5	6	8	19	300	19.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		35	19.45	10	8	17	35	300	19.45	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		78	20.15	22	32	6	60	300	20.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		78	21.00	22	32	6	60	300	21.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		78	21.23	22	32	6	60	300	21.23	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		120	21.23	33	27	60	125	300	21.23	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		120	22.00	33	27	60	125	300	22.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		120	22.15	33	27	60	125	300	22.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		150	22.15	53	7	60	100	300	22.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		150	23.00	53	7	60	100	300	23.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		150	23.12	53	7	60	100	300	23.12	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		133	24.00	26	34	60	133	300	24.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		133	24.16	26	34	60	133	300	24.16	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		120	25.00	46	14	60	125	300	25.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		120	25.15	46	14	60	125	300	25.15	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		164	26.00	53	7	60	92	300	26.00	○			
			砂質砂	砂質砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ20mm以下の亜円礫点在 一部に腐植物を含む		164	26.11	53	7	60	92	300	26.11	○			

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度第161-イ-B号 宮崎県総合運動公園屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	宮崎市大字熊野	北緯	31° 49' 35.05"
発注機関	宮崎県営繕課	調査期間	2022年 10月 5日 ~ 2022年 10月 12日	東経	131° 26' 52.62"
調査業者名	株式会社国土地質調査事務所 電話 0985-29-8323	主任技師	財津良太 地質調査技士 登録番号 第22436号	現場代理人	甲斐重隆 地質調査技士 登録番号 第22436号
コア鑑定者	財津良太 地質調査技士 登録番号 第22436号	ボーリング責任者	中嶋一夫 地質調査技士 登録番号 第21404号		
孔口標高	KBM 11.18m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	26.00m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 東邦製DM-03L型 エンジン ヤンマー製TF90M
				ポンプ	三菱製EP-161GB

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日						
												深 度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法		
1	10.38	0.80	礫混じりローム	礫混じりローム		暗褐				盛土。Φ40mm以下の砂岩礫、Φ2~10mmの風化ボラ含む。植物根、木片混入	10/5	9	1.15	2	2	5	9	300							
2			礫混じり粘土	礫混じり粘土		灰〜灰褐		rc3		盛土 低含水で粘性中位 Φ30mm以下の宮崎層群風化礫（岩砕）混入		3	2.15	1	1	1	3	300							
3	8.18	3.00	シルト混じり砂	シルト混じり砂		灰		rd2		細砂主体、シルトを不均一に混入する。Φ30mm以下の礫点在		6	3.15	2	2	2	6	300							
4	7.58	3.60	礫混じり砂	礫混じり砂		灰		rd3		細〜中砂主体 Φ2~10mm、max φ30mmの円〜亜円礫を全体に不均一に混入する 貝殻細片混入		13	4.15	4	4	5	13	300							
5			礫混じり砂	礫混じり砂		灰		rd3		細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ5mm以下の円〜亜円礫点在 一部に腐植物を含む		18	5.15	6	5	7	18	300							
6	4.73	6.45	シルト質砂	シルト質砂		暗灰		rd3		細砂主体 Φ2~10mm、max φ30mmの亜円〜亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入（9.8~9.95m間は密集） 貝殻細片を少量含む		12	6.15	5	4	3	12	300							
7	3.38	7.80	礫混じり砂	礫混じり砂		灰褐〜灰		rd3		細砂主体で細粒分を含む 全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する 11.55~12.45m間は軽石が密集する 13.5m付近はチップ状の腐植物を含む 所々に貝殻細片を混入する		10	7.15	4	3	3	10	300					10/5		
8			火山灰質砂	火山灰質砂		灰		rd3		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		20	8.15	6	6	8	20	300							
9			砂	砂		灰		rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩：泥岩=3：7 泥岩を優勢とし、所々に2~33cmの砂岩を挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを主体とする（一部、掘削に伴う亀裂や乱れ有） 層理面は20°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアックラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		19	9.15	6	7	6	19	300							
10	0.73	10.45	砂	砂		灰		rd4		φ100mmの砂岩玉石主体 周囲を砂礫が埋める		25	10.15	8	8	9	25	300							
11			砂	砂		灰		rd4				26	11.15	8	6	5	19	300							
12			砂	砂		灰		rd4				19	11.45	6	6	7	19	300							
13			砂	砂		灰		rd4				14	12.15	6	6	7	19	300							
14			砂	砂		灰		rd4				14	12.45	4	5	5	14	300							
15			砂	砂		灰		rd4				15	13.15	4	5	5	14	300							
16			砂	砂		灰		rd4				15	13.45	4	5	6	15	300							
17			砂	砂		灰		rd4				26	14.15	4	5	6	15	300							
18			砂	砂		灰		rd4				37	14.45	7	9	10	26	300					10/6		
19			砂	砂		灰		rd4				37	15.15	12	12	13	37	300							
20			砂	砂		灰		rd4				35	16.15	10	13	12	35	300							
21			砂	砂		灰		rd4				36	17.15	10	13	13	36	300							
22			砂	砂		灰		rd4				36	18.15	10	13	13	36	300							
23			砂	砂		灰		rd4				37	18.45	10	13	14	37	300							
24			砂	砂		灰		rd4				37	19.15	10	13	14	37	300							
25			砂	砂		灰		rd4				69	19.45	27	19	14	60	217					10/7		
26			砂	砂		灰		rd4				90	20.00	27	19	14	60	260							
27			砂	砂		灰		rd4				90	20.26	24	36	60	200	167							
28			砂	砂		灰		rd4				133	21.00	32	28	60	160	133							
29			砂	砂		灰		rd4				133	21.20	55	5	10	60	110	92				10/11		
30			砂	砂		灰		rd4				133	22.00	23.00	23.11	60	100	83							
31			砂	砂		灰		rd4				180	24.00	24.10	25.00	25.10	60	100	83						
32			砂	砂		灰		rd4				180	24.10	25.00	25.10	60	100	83							
33			砂	砂		灰		rd4				225	26.00	60	80	60	80	67						10/12	
34			砂	砂		灰		rd4				225	26.08	60	80	60	80	67							

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度第161-イ-B号 宮崎県総合運動公園屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 3	調査位置	宮崎市大字熊野	北緯	31° 49' 35.98"
発注機関	宮崎県営繕課	調査期間	2022年 8月 19日 ~ 2022年 8月 26日	東経	131° 26' 52.95"
調査業者名	株式会社国土地質調査事務所 電話 0985-29-8323	主任技師	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	現場代理人	甲斐重隆 地質調査技士 登録番号: 第22436号
コア鑑定者	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	ボーリング責任者	中嶋一夫 地質調査技士 登録番号: 第21404号		
孔口標高	KBM 11.09m	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	26.00m	使用機種	試錐機 東邦製DM-03L型 エンジン ヤンマー製TF90M	ポンプ	三菱製EP-161GB

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日			
												深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	採取方法	
1	9.99	1.10	礫混じり砂質粘土	礫混じり砂質粘土	暗褐色~茶褐色					盛土。Φ30mm以下の砂岩礫、Φ2~10mmの風化ボラ含む。植物根、木片混入	8/23	1.15	2	4	5	11	300					
2			礫混じり粘土	礫混じり粘土	灰		rc3			盛土。低含水で粘性中位。Φ30mm以下の宮崎層群風化礫（岩砕）混入。掘進時、無水掘りにて2.7mに水位を確認		1.45						2.15	○	密度含水沈降液性ふるい		
3	8.09	3.00	シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰		rd2			細砂主体で、シルトを少量含む		2.45	2	2	3	7	300	2.45	○			
4	7.59	3.50	礫混じり砂	礫混じり砂	灰		rd2			細砂主体で、シルトを少量含む		3.15	2	2	2	6	300	3.15	○			
5	4.49	6.60	シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰		rd3			細~中砂主体。Φ2~20mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。貝殻細片を少量含む		3.45						3.45	○			
6			礫混じり砂	礫混じり砂	灰		rd3			細~中砂主体。Φ2~20mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。貝殻細片を少量含む		5.15	3	3	4	10	300	5.15	○	孔内載荷試験 E=1.43E+03kN/m ²		8/19
7	4.49	6.60	シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰		rd2			細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する。Φ20mm以下の亜円礫点在。一部に腐植物を含む		5.45						5.45	○	現場透水試験 ふるい k=6.43E-07m/s		
8	3.29	7.80	礫混じり砂	礫混じり砂	灰		rd2			細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する。Φ20mm以下の亜円礫点在。一部に腐植物を含む		6.15	8	7	7	22	300	6.15	○			
9			シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰		rd2			細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する。Φ20mm以下の亜円礫点在。一部に腐植物を含む		6.45						6.45	○			
10	0.59	10.50	礫混じり砂	礫混じり砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		7.15	2	2	3	7	300	7.15	○	ふるい		
11			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		7.45						7.45	○			
12			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		8.15	5	4	4	13	300	8.15	○			
13			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		8.45						8.45	○			
14			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		9.15	6	4	5	15	300	9.15	○	ふるい		
15			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		9.45						9.45	○			
16	-4.61	15.70	火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		10.15	5	5	6	16	300	10.15	○			
17			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		10.45						10.45	○			
18			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		11.15	6	6	6	18	300	11.15	○			
19			火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		11.45						11.45	○			
20	-8.91	20.00	火山灰質砂	火山灰質砂	灰		rd3			細砂主体。Φ2~20mm、max φ40mmの亜円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。所々にΦ5mm以下の軽石混入。貝殻細片を少量含む		12.15	3	3	3	9	300	12.15	○			
21	-9.36	20.45	砂礫	砂礫	灰		rd5			細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		12.45						12.45	○			
22			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		13.15	5	6	7	18	300	13.15	○	ふるい		
23			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		13.45						13.45	○			
24			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		14.15	6	6	5	17	300	14.15	○			
25			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		14.45						14.45	○			
26	-14.91	26.00	砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		15.15	6	5	6	17	300	15.15	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		15.45						15.45	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		16.15	8	10	12	30	300	16.15	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		16.45						16.45	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		17.15	6	7	9	22	300	17.15	○	ふるい		
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		17.45						17.45	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		18.15	6	8	9	23	300	18.15	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		18.45						18.45	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		19.15	10	8	13	31	300	19.15	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		19.45						19.45	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		20.00	33	27	60	125		20.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		20.15						20.15	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		21.00	46	14	60	100		21.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		21.12						21.12	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		22.00	44	16	60	108		22.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		22.13						22.13	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		23.00	60		60	83		23.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		23.10						23.10	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		24.00	60		60	67		24.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		24.08						24.08	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		25.00	60		60	75		25.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		25.09						25.09	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		26.00	60		60	67		26.00	○			
			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					細砂主体で細粒分を含む。全体に火山灰質であり、φ5mm以下の軽石を不均一に混入する。11.5~12.65m間は軽石が密集する。12.55~13m間はチップ状の腐植物を不均一に含む。所々に貝殻細片を含む		26.08						26.08	○			

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度第161-イ-B号 宮崎県総合運動公園屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 4	調査位置	宮崎市大字熊野	北緯	31° 49' 36.91"
発注機関	宮崎県営繕課	調査期間	2022年 10月 5日 ~ 2022年 10月 11日	東経	131° 26' 53.28"
調査業者名	株式会社国土地質調査事務所 電話 0985-29-8323	主任技師	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	現場代理人	甲斐重隆 地質調査技士 登録番号: 第22436号
コア鑑定者	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	ボーリング責任者	玉田修三 地質調査技士 登録番号: 第22268号		
孔口標高	KBM 11.16m	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	26.00m	使用機種	試錐機 吉田製YBM-05型 エンジン ヤンマー製NFAD-90型	ポンプ	丸山製MS417EA

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日						
												深度-N値図								深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深
1	9.91	1.25	砂混じりローム	砂混じりローム	茶褐~暗褐			rc2		盛土 Φ2~10mmの風化ボラ含む 植物根混入	10/11 2076	1.15	1	2	5	8	300								
2			礫混じり粘土	礫混じり粘土	灰褐~灰			rc3		盛土 低~中含水で粘性中位 Φ30mm以下の宮崎層群風化礫 (岩砕) 混入	10/7 4.00	2.15	1	2	2	5	300								
3	8.21	2.95	シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰			rd1		細砂主体、シルトを不均一に混入する。 Φ10mm以下の礫点在		2.45	1	2	2	5	300								
4	7.46	3.70	礫混じり砂	礫混じり砂	灰			rd3		細~中砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの円~亜円礫を 全体に不均一に混入する 貝殻細片混入		3.15	1	1	1	3	300								
5			礫混じり砂	礫混じり砂	灰			rd3		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		3.45	1	1	1	3	300								
6	4.56	6.60	砂質シルト	砂質シルト	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		4.15	3	3	4	10	300								
7	3.26	7.90	礫混じり砂	礫混じり砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		4.45	3	3	4	10	300								
8			礫混じり砂	礫混じり砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		5.15	7	7	9	23	300								
9			礫混じり砂	礫混じり砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		5.45	6	7	7	20	300								
10	0.66	10.50	火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		6.15	6	7	7	20	300								
11			火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		6.45	6	7	7	20	300								
12			火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		7.15	1	1	2	300									
13			火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		7.45	170	130	2	300									
14			火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		8.15	7	8	9	24	300								
15			火山灰質砂	火山灰質砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		8.45	7	8	9	24	300								
16	-4.29	15.45	砂	砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		9.15	5	7	6	18	300								
17			砂	砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		9.45	5	7	6	18	300								
18			砂	砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		10.15	6	8	10	24	300								
19			砂	砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		10.45	6	6	8	20	300								
20	-9.34	20.50	砂	砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		11.15	6	6	8	20	300								
21	-9.49	20.65	礫質砂	礫質砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		11.45	3	3	5	11	300								
22			砂	砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		12.15	3	3	5	11	300								
23			砂	砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		12.45	3	3	5	11	300								
24			砂	砂	暗灰~灰			rc2		細砂主体 Φ2~10mm, max φ20mmの亜円~亜角礫を 全体に不均一に混入し、一部に密集する 所々にΦ5mm以下の軽石混入 (9m付近は 密集) 貝殻細片を少量含む		13.15	5	4	5	14	300								
25			砂	砂	暗灰~灰			rc2		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		13.45	5	4	5	14	300								
26	-14.84	26.00	砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		14.15	5	7	8	20	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		14.45	5	7	8	20	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		15.15	6	9	12	27	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		細砂主体 Φ2~20mmの亜角~亜円礫含む		15.45	6	9	12	27	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		16.15	10	12	15	37	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		16.45	10	12	15	37	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		17.15	9	11	15	35	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		細砂主体 Φ2~20mmの亜角~亜円礫含む		17.45	9	11	15	35	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		18.15	8	11	15	34	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		18.45	8	11	15	34	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		19.15	11	13	13	37	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		細砂主体 Φ2~20mmの亜角~亜円礫含む		19.45	9	12	19	40	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		20.15	9	12	19	40	300								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		20.45	19	26	15	60	208								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		21.25	19	26	15	60	208								
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		21.55	34	26	60	117									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		22.00	34	26	60	117									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		22.14	29	31	60	125									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		23.00	29	31	60	125									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		23.15	28	32	60	142									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		24.00	28	32	60	142									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		24.17	27	33	60	117									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		全体に粒径均一な細砂 一部に細粒分を含む Φ10mm以下の礫点在 所々に貝殻細片を含み、一部に密集する		25.00	27	33	60	117									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		シルトを主体とし、細砂を不均一に混入する Φ5mm以下の円~亜円礫点在 一部に腐植物が密集する		25.14	23	37	60	142									
			砂岩	砂岩	暗灰			rd4		宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩: 泥岩=3:7 泥岩を優勢とし、所々に2~22cmの砂岩を 挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを 主体とする (一部、掘削に伴う亀裂 や乱れ有) 層理面は15°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアク ラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		26.00	23	37	60	142									

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度第161-イ-B号 宮崎県総合運動公園屋内走路建設工事に伴う地盤調査業務委託

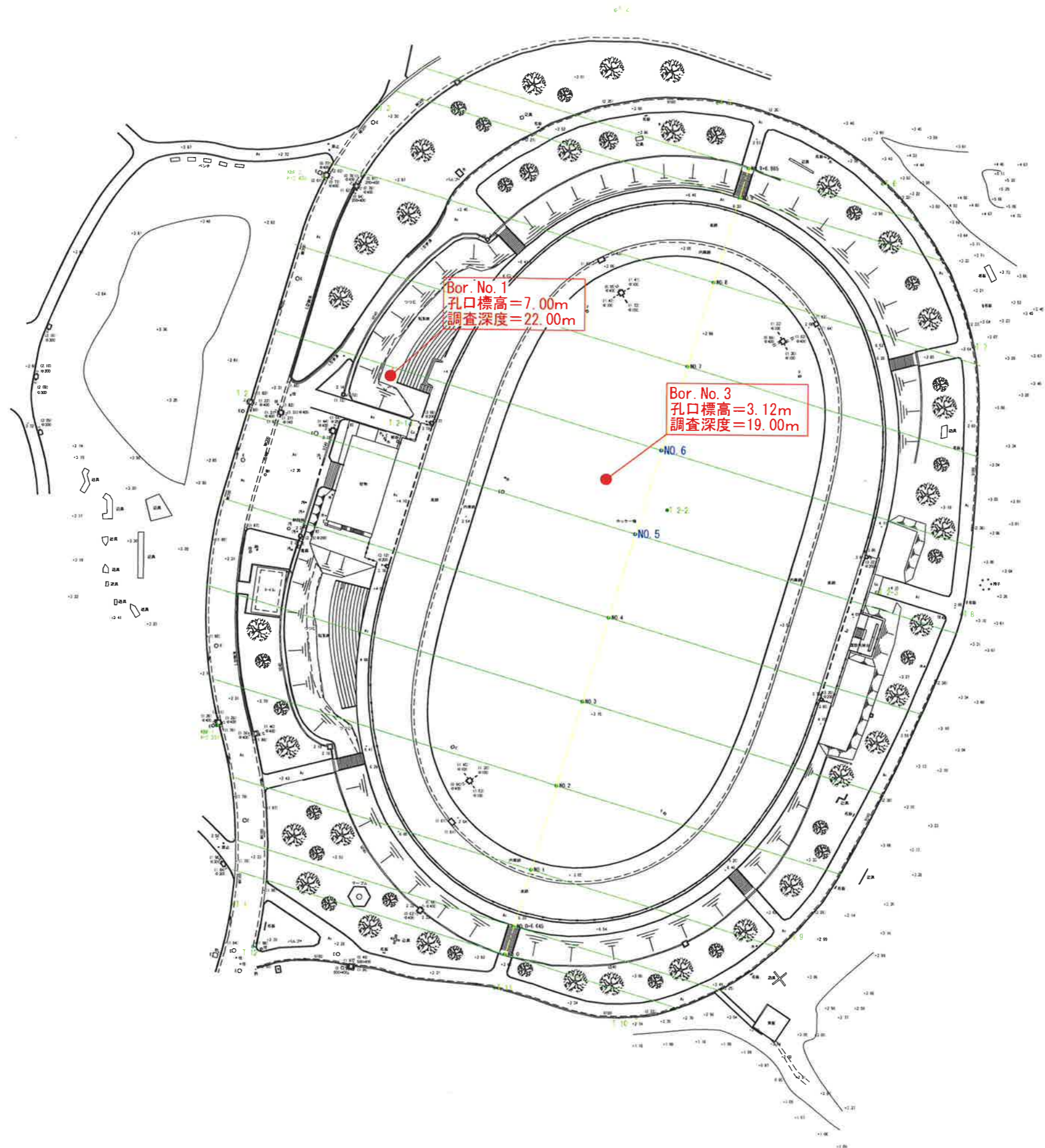
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 5	調査位置	宮崎市大字熊野	北緯	31° 49' 37.84"
発注機関	宮崎県営繕課	調査期間	2022年 9月 7日 ~ 2022年 9月 14日	東経	131° 26' 53.61"
調査業者名	株式会社国土調査事務所 電話 0985-29-8323	主任技師	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	現場代理人	甲斐重隆 地質調査技士 登録番号: 第22436号
コア鑑定者	財津良太 地質調査技士 登録番号: 第22436号	ボーリング責任者	玉田修三 地質調査技士 登録番号: 第22268号		
孔口標高	KBM 10.99m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	使用機種	試錐機 吉田製YBM-05型 エンジン ヤンマー製NFAD-90型
総削孔長	26.00m	角度	鉛直 90°	ポンプ	丸山製MS417EA

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日						
												深度-N値図								深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深
1	9.89	1.10	砂混じり粘土	砂混じり粘土	暗褐~黄褐					盛土。砂混じりローム（暗褐）、砂混じり粘土（黄褐）からなる。Φ10mm以下の礫点在。所々に植物根混入	9/13 3.70	14	1.15	2	4	8	14	300							
2			礫混じり粘土	礫混じり粘土	灰~褐灰		rc3			盛土。中含水で粘性中~高位 Φ20mm以下の宮崎層群風化礫（岩砕）混入	9/14 3.70	7	2.15	2	3	2	7	300	2.15	○	密度含水沈降液性稠度含水沈降液性塑性ふるい				
3	8.09	2.90	砂質シルト	砂質シルト	灰		rc2			全体に不均一に細砂を混入する 中含水で粘性低~中位		3	3.15	1	2	3	300	3.15	○						
4	7.29	3.70										10	4.15	3	3	4	10	300	4.15	○					
5			細中砂	細中砂	灰		rd3			上部は中砂主体で下部は細砂主体となる Φ5mm以下の礫点在		17	5.15	5	5	7	17	300	5.15				9/7		
6	4.54	6.45										15	6.15	5	6	4	15	300	6.15						
7			シルト質砂	シルト質砂	暗灰~灰		rd2			細砂を主体とし、シルトを不均一に混入する Φ数mmの軽石点在		7	7.15	1	3	3	7	300	7.15	○	ふるい				
8	2.99	8.00	礫混じり砂	礫混じり砂	灰褐		rd3			細~中砂主体。Φ2~10mm, max φ 30mmの円~亜角礫を全体に不均一に混入し、一部に密集する。貝殻片混入		16	8.15	4	5	7	16	300	8.15	○	ふるい				
9	1.54	9.45										17	9.15	5	6	6	17	300	9.15						
10			火山灰質砂	火山灰質砂	灰~暗灰		rd3			細砂主体で細粒分を含む 全体に火山灰質である 11~13m間はφ5mm以下の軽石を不均一に混入し、一部に密集する 貝殻片混入		25	10.15	9	8	8	25	300	10.15	○	ふるい				
11												15	11.15	5	5	5	15	300	11.15						
12												12	12.15	4	4	4	12	300	12.15						
13												12	13.15	3	4	5	12	300	13.15						
14	-2.56	13.55										19	14.15	5	6	8	19	300	14.15						
15												26	15.15	6	10	10	26	300	15.15	○	ふるい				
16												37	16.15	10	12	15	37	300	16.15						
17			細砂	細砂	灰		rd3			全体に粒径均一な細砂 下部は所々に貝殻細片を含む		29	17.15	7	10	12	29	300	17.15						
18												31	18.15	8	10	13	31	300	18.15						
19												26	19.15	6	9	11	26	300	19.15						
20	-9.01	20.00	砂礫	砂礫	緑灰		rd5			φ10~50mmの砂岩、泥岩円~亜円礫主体。基質は細礫混じり砂質粘土。貝殻片混入		138	20.00	49	11	60	130	108	20.00				9/9		
21	-9.36	20.35										106	21.00	29	31	60	170	142	21.00				9/12		
22			砂岩泥岩互層	砂岩泥岩互層	暗灰					宮崎層群泥岩優勢互層 砂岩：泥岩=2:8 泥岩を優勢とし、所々に4~28cmの砂岩を挟む 岩質は新鮮で、亀裂の少ない柱状コアを主体とする（一部、掘削に伴う亀裂や乱れ有※20.7~21m間、22.8~23m間はコア落下による乱れ） 層理面は10°以下 泥岩部はスレーキングに伴うヘアックラックを生じ易い カッターで容易に傷が付く硬さ CL級岩盤		106	22.00	27	33	60	170	142	22.00						
23												150	23.00	52	8	60	120	100	23.00				9/13		
24												164	24.00	50	10	60	110	92	24.00						
25												164	25.00	52	8	60	110	92	25.00						
26	-15.01	26.00										267	26.00	60	70	60	70	58	26.00				9/14		

ボーリング位置図（平面図） S=1:500



件名	令和3年度補正予算第3-6号 ひなた宮崎県総合運動公園 自転車競技場地質調査業務その1		
図面名	ボーリング位置図（平面図）		
年月	令和3年8月		
尺度	図示	図面番号	/
会社名	株式会社南洲基礎地質コンサルタント		
事務所名	宮崎土木事務所		
作成者	上森	版情報	確定

土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和3年度練習環境第3-B号ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場
地質調査業務その1

事業・工事名 練習環境整備事業(公園)第3-B号

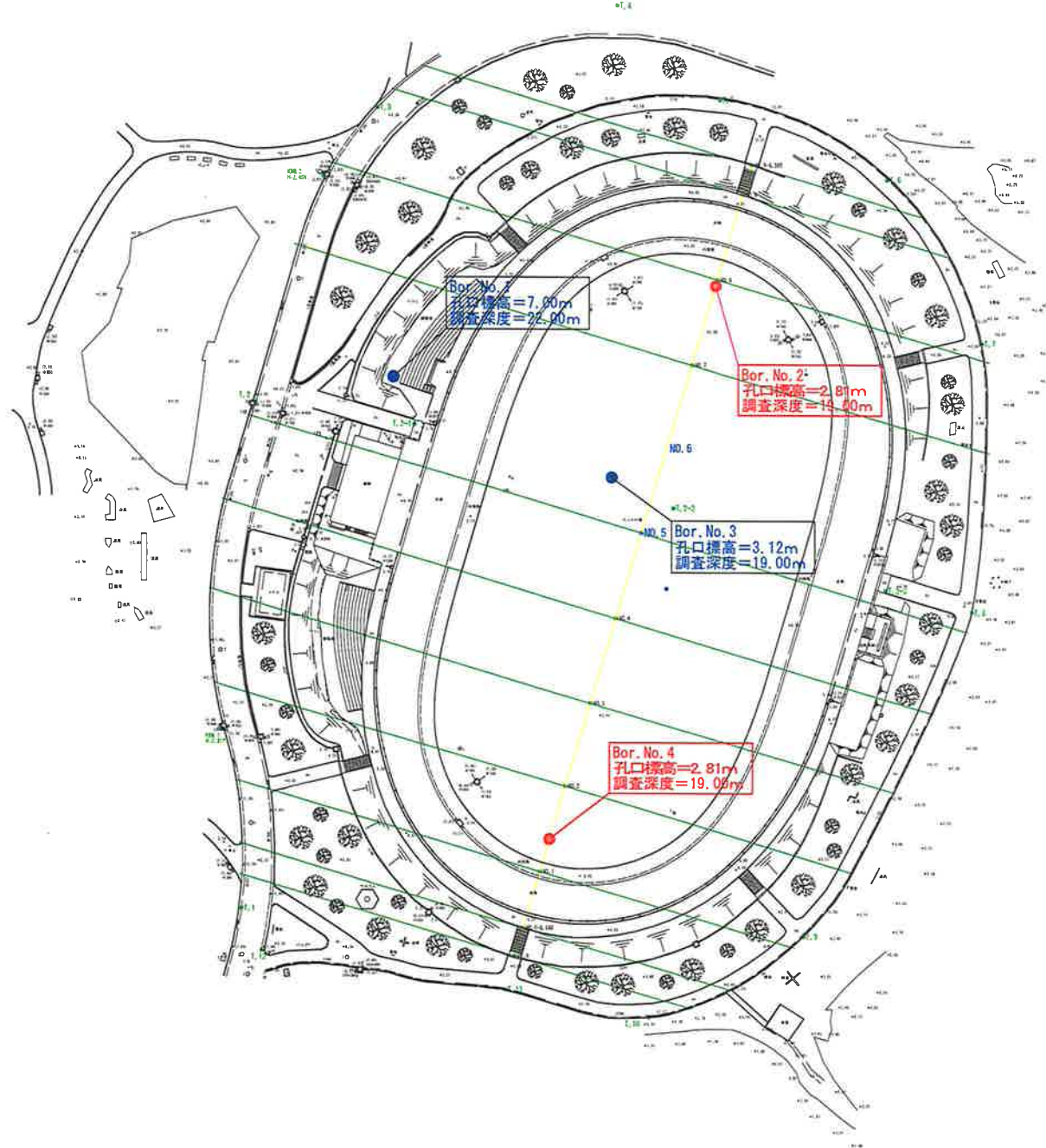
調査目的及び調査対象 その他 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	宮崎県宮崎市大字熊野	北緯	31° 50' 01.6234"
発注機関	宮崎県宮崎土木事務所	調査期間	令和3年 8月 2日～ 令和3年 8月 6日	東経	131° 26' 53.7064"
調査業者名	株式会社南洲基礎地質コンサルタント 電話 0986-37-1083	主任技師	上森一己 地質調査技師 第17750号	現代代理人	山下恭平 地質調査技師 第21684号
孔口標高	TP 7.00m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	22.00m	度	0°	向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
試験機	KOKEN-OP1	使用機種	エンジン ヤンマー-NFD12	ポンプ	丸山製作所MS415
コシ定者	上森一己 地質調査技師 第17750号	ボーリング責任者	上森一己 地質調査技師 第17750号		

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 稠 度	相 対 密 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
										深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料採取方法			
1						暗灰	rc2	【盛土】 GL±0.00m~GL-0.65m間は植物根やφ2mm程度の礫を少量含むルーズな火山灰土。 GL-0.65m~GL-4.90m間は、砂の混じるシルトを主体とし、φ2mm~φ20mm程度の砂岩礫や泥岩礫を比較的多く含む、礫は最大φ50mm程度も点在している。	8/5 2.30	1.15	1	1	2	1.00	1-1	○	比重 含水率 液性 塑性 三軸 圧密	8/3
2			礫混じりシルト	粘性土			8/3 3.25		1.45	200			1.45	1-2	○			
3							8/6 6.20		2.15	1	1	1	2.45	1-3	○			
4							8/3 3.25		2.45	300			3.00	1-4	○			
5	2.10	4.90					8/6 6.20		3.15	1			3.45	1-5	○			
6			シルト混じり砂	砂質土	暗灰	rd3	シルトを含む細砂を主体とし、φ2mm~φ10mm程度の礫の薄層を15cm前後の厚みで部分的挟む。	8/6 6.20	4.15	1	2	1	4.00	1-6	○			
7	0.00	7.00					8/6 6.20	4.45	5	5	5	4.45	1-7	○				
8							8/6 6.20	5.15	1	2	2	5.00	1-8	○				
9							8/6 6.20	5.45	5	5	5	5.45	1-9	○				
10							8/6 6.20	6.15	5	5	5	6.00	1-10	○				
11			礫混じり砂	砂質土	暗灰	rd3	GL-7.00m~GL-10.70m間は、φ2mm~φ5mm程度の礫を含む細粒の砂を主体とし、部分的にφ5mm~φ10mm程度の礫の薄層を5cm~20cm前後の厚みで挟む。	8/6 6.20	6.45	8	7	7	6.45	1-11	○			
12							8/6 6.20	7.15	7	6	7	7.45	1-12	○				
13							8/6 6.20	7.45	4	4	12	8.00	1-13	○				
14							8/6 6.20	8.15	9	9	8	8.45	1-14	○				
15							8/6 6.20	8.45	11	12	7	9.00	1-15	○				
16							8/6 6.20	9.15	10	10	10	9.45	1-16	○				
17			シルト混じり砂	砂質土	淡灰	rd3	GL-10.70m~GL-11.00m間は、シルト質砂を主体とし、腐植物を少量含む。 GL-11.00m~GL-14.90m間は、φ2mm~φ10mm程度の砂岩礫や泥岩礫を比較的多く含む砂を主体とし、部分的に細砂を10cm~20cm程度の厚みで挟む。	8/6 6.20	10.15	11	12	7	10.00	1-17	○			
18							8/6 6.20	10.45	12	14	14	10.45	1-18	○				
19							8/6 6.20	11.15	13	16	17	11.45	1-19	○				
20							8/6 6.20	11.45	12	14	14	11.45	1-20	○				
21							8/6 6.20	12.15	7	7	7	12.00	1-21	○				
22							8/6 6.20	12.45	9	9	8	12.45	1-22	○				
23							8/6 6.20	13.15	12	14	14	13.45	1-23	○				
							8/6 6.20	13.45	14	14	14	14.00	1-24	○				
							8/6 6.20	14.15	9	9	8	14.45	1-25	○				
							8/6 6.20	14.45	15	3	3	15.00	1-26	○				
							8/6 6.20	15.15	3	3	5	15.45	1-27	○				
							8/6 6.20	15.45	4	6	6	16.00	1-28	○				
							8/6 6.20	16.15	4	6	6	16.45	1-29	○				
							8/6 6.20	16.45	2	2	2	17.00	1-30	○				
							8/6 6.20	17.15	2	2	2	17.45	1-31	○				
							8/6 6.20	17.45	8	9	11	17.45	1-32	○				
							8/6 6.20	18.15	8	9	11	18.00	1-33	○				
							8/6 6.20	18.45	13	16	17	18.45	1-34	○				
							8/6 6.20	19.15	13	16	17	19.00	1-35	○				
							8/6 6.20	19.45	13	16	17	19.45	1-36	○				
							8/6 6.20	20.00	50	50	80	20.00	1-37	○				
							8/6 6.20	20.08	50	50	80	20.08	1-38	○				
							8/6 6.20	21.00	50	50	60	21.00	1-39	○				
							8/6 6.20	21.06	50	50	60	21.06	1-40	○				
							8/6 6.20	22.00	50	50	70	22.00	1-41	○				
							8/6 6.20	22.07	50	50	70	22.07	1-42	○				

調査位置平面図

S=1: 500
 (縮小A3)=1: 1000



Bor. No. 2	今回のBor
Bor. No. 4	今回のBor
Bor. No. 1	近傍のBor
Bor. No. 3	近傍のBor

工事名	*新1号線延伸区間(4号)の位置調査報告書作成 沿線地盤調査報告書作成		
図面名	調査位置平面図		
作成年月日	令和03年 9月		
縮尺	図示	図面番号	1/4
会社名	株式会社コスモエンジニアリング		
事業所名	宮城土木事務所		

ボーリング柱状図

調査名 令和3年度 練習環境 第3-C号 ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場
地質調査業務その2

ボーリングNo 2

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	Bor. N0. 2		調査位置	宮崎市大字熊野			北緯	31° 50' 2.40"								
発注機関	宮崎県宮崎土木事務所			調査期間	令和3年8月26日～3年8月31日			東経	131° 26' 56.60"							
調査業者名	株式会社 コスモエンジニアリング 電話 (0986-38-5418)		主任技師	黒田 健一		現代代理人	黒田 健一 コ 鑑 定 者 黒田 健一		ボーリング責任者	曾我 圭介						
孔口標高	2.81m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	鉦研 KT-3 型		ハンマー落下用具	半自動	
総掘進長	19.00m	度	0°		向			エンジン	ヤンマー製 NFAD-8 型		ポンプ	東邦 BG-5				

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進 (月日)	
								深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10							20
1	1.24	1.60	1.60	盛土 黒褐色	軟らかい		0.45mまで植物根やルーズな火山灰土及び0.2~5mmの礫 1.00mまで、隠混じり粘性土	1.15	1	1	3	30	3					
2	-0.11	1.33	2.93	シルト混じり砂	暗灰	緩い	砂礫と砂分を主体にシルト混入 貫入部のみ緩い	1.45	1	1	2	4	30	4				
3							礫はφ10~20mmの面円礫~円礫 砂は、細粒砂主体 (最大40mm)	2.45	7	6	6	19	30	19				
4								3.45	7	8	7	22	30	22				
5								4.45	6	7	7	20	30	20				
6								5.45	5	6	8	19	30	19				
7							6.55mからφ10~35mm 円礫主体に 細粒~中粒を含む シーム状にシルト挟む	6.45	4	7	9	20	30	20				
8								7.45	4	4	4	12	30	12				
9							8.60mからφ10~20mm円礫を混入する。 φ1~2mmの軽石を混入する。 9.40mから細砂 φ1~2mmの軽石を混入する。 10.00mからφ10~20mm円礫を混入する。	8.45	11	12	9	32	30	32				
10	-7.79	7.65	10.60					9.45	16	10	9	35	30	35				
11								10.45	3	3	3	9	30	9				
12								11.45	3	3	3	9	30	9				
13							細砂を主体にシルトを混入する。 上部はφ1~2mmの軽石と貝殻片を多く混入する。 12.00~12.70mは、貝殻片が密集する。 15.00m付近からシルト分が多く入り、貝殻片を含む。	12.45	7	8	9	24	30	24				
14								13.45	10	11	11	32	30	32				
15								14.45	7	11	13	31	30	31				
16	-13.59	5.80	16.40					15.45	7	9	20	36	30	36				
17							富高層群 砂岩泥岩互層 20~40cm間隔に新鮮な砂岩と泥岩が互層をなしている。 短柱~長柱の体状コアで、ハンマー打撃に強い音を発する。 軽打で容易に貫入する。 岩塊区分は、C1級に相当する。 RQDは、16.45~17.00m : 65% 17.00~18.00m : 85% 18.00~19.00m : 100%	16.45	50	50	50	150						
18								17.45	50	50	50	150						
19	-16.19	2.60	19.00					18.05	50	50	50	150						
								19.05	50	50	50	150						

ボーリング柱状図

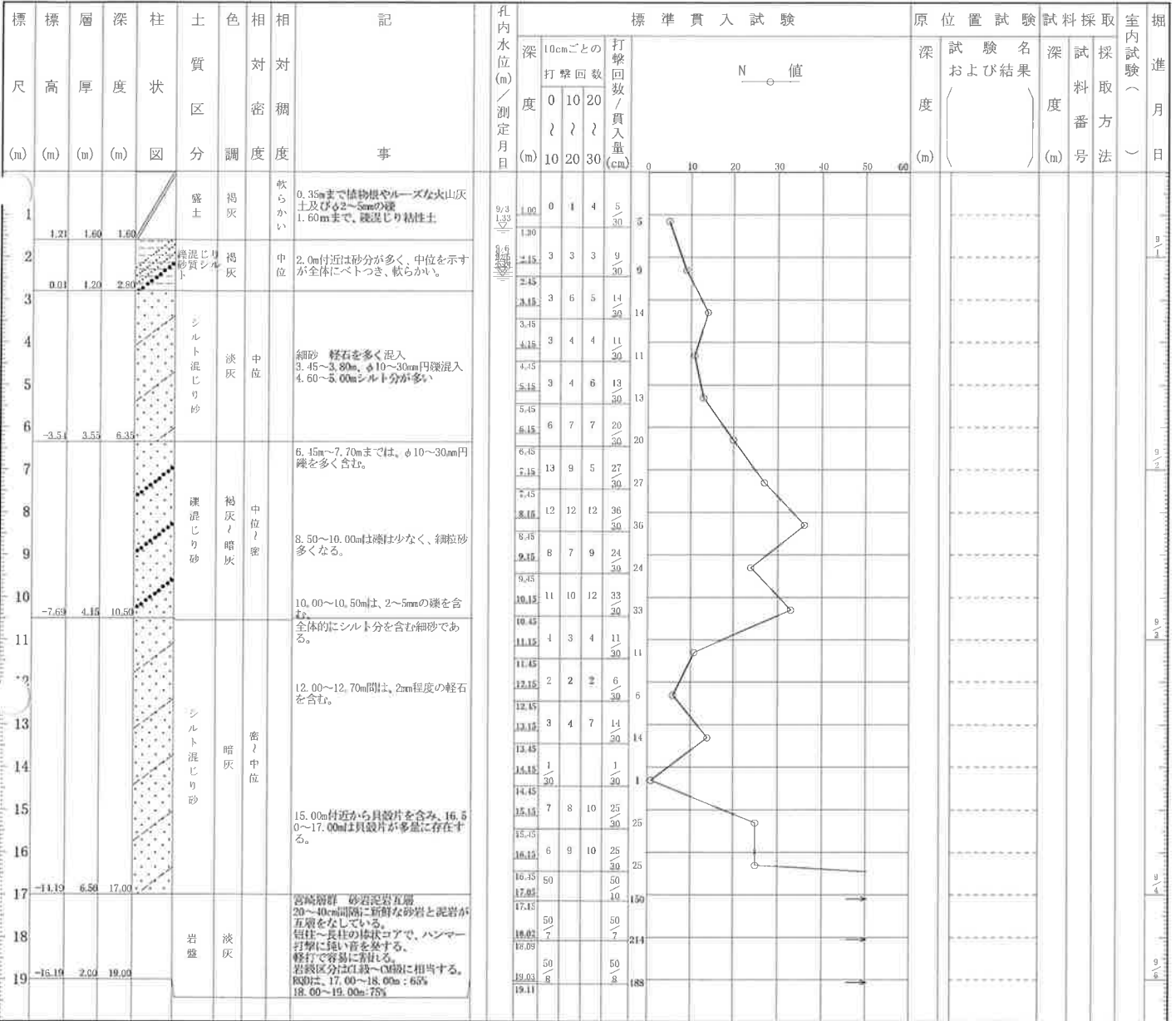
調査名 令和3年度 練習環境 第3-C号 ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場 地質調査業務その2

ボーリングNo	4
---------	---

事業・工事名

シートNo 1

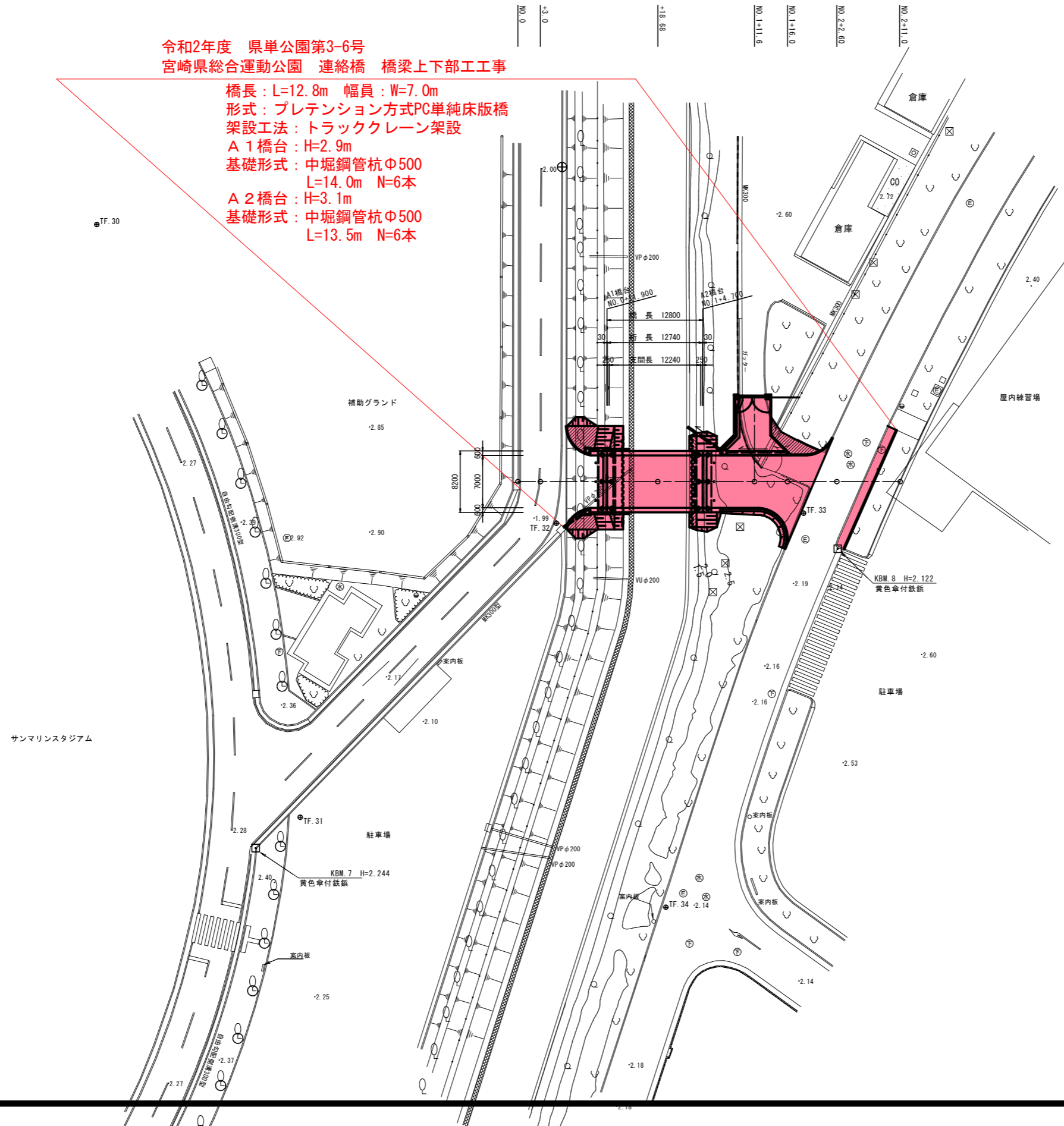
ボーリング名	Bor. NO. 4		調査位置	宮崎市大字熊野			北緯	31° 49' 58.10"						
発注機関	宮崎県宮崎土木事務所			調査期間	令和3年9月1日 ~ 3年9月6日			東経	131° 26' 54.86"					
調査業者名	株式会社 コスモエンジニアリング 電話(0986-38-5418)		主任技師	黒田 健一		現場代理人	黒田 健一		コアダテ	黒田 健一		ボーリング責任者	曾我 圭介	
孔口標高	2.81m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 水平 0°		使用機種	試錐機 鉦研KT-3型 エンジン ヤンマー製NFAD-8型	
総掘進長	19.00m		ハンマー	落下用具		ポンプ		半自動 東邦BG-5						



計画平面図 S=1:300

令和2年度 県単公園第3-6号
宮崎県総合運動公園 連絡橋 橋梁上下部工工事

橋長：L=12.8m 幅員：W=7.0m
形式：プレテンション方式PC単純床版橋
架設工法：トラッククレーン架設
A1橋台：H=2.9m
基礎形式：中掘鋼管杭φ500
L=14.0m N=6本
A2橋台：H=3.1m
基礎形式：中掘鋼管杭φ500
L=13.5m N=6本

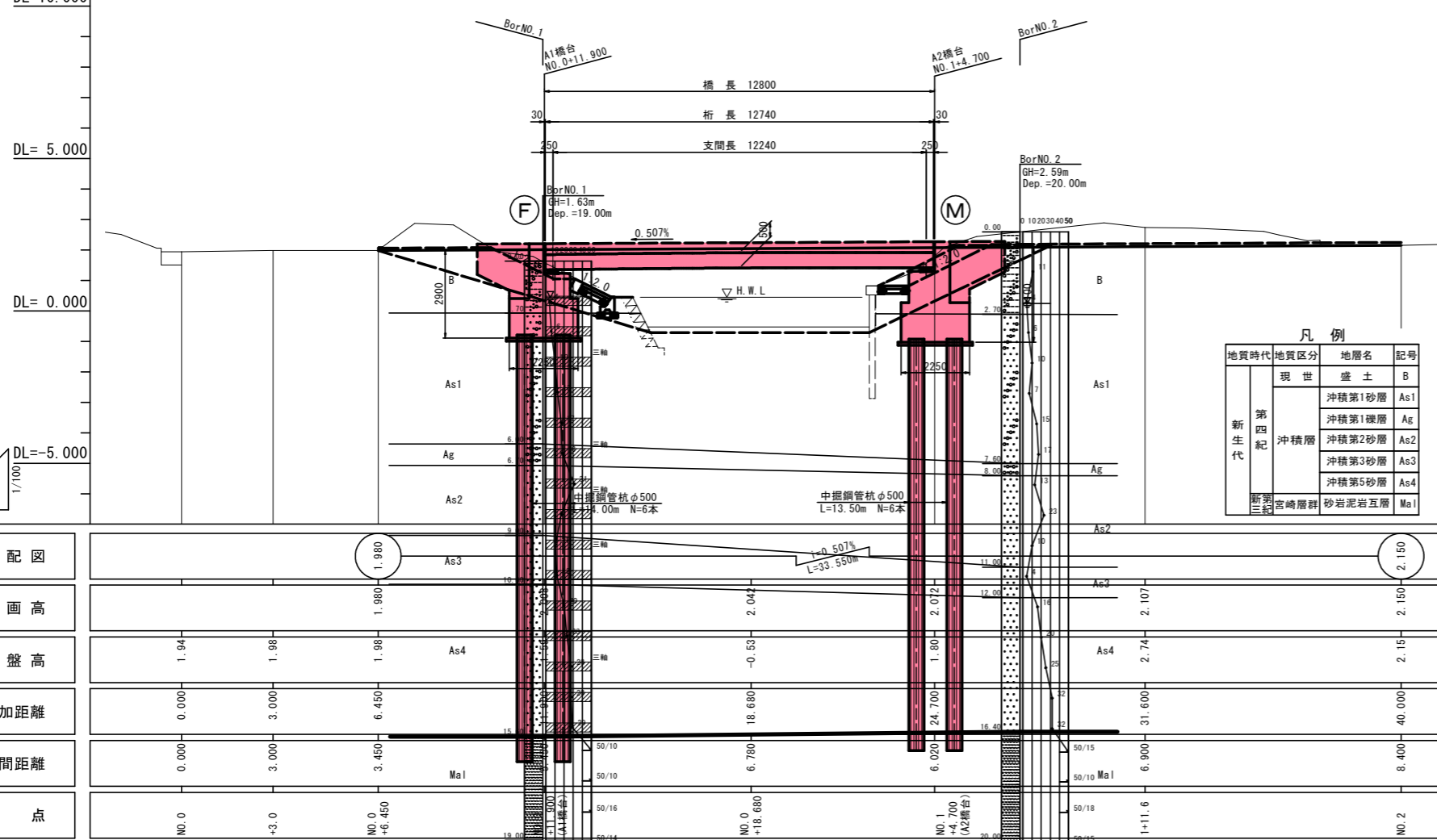


実施設計 1/43

工事名	令和2年度 県単公園第3-6号 宮崎県総合運動公園 連絡橋 橋梁上下部工工事		
図面名	計画平面図		
作成年月日	令和2年1月 日		
縮尺	図示	図面番号	1/43
会社名			
事業者名	宮崎県 宮崎土木事務所		

連絡橋全体一般図

側面図 S=1:100

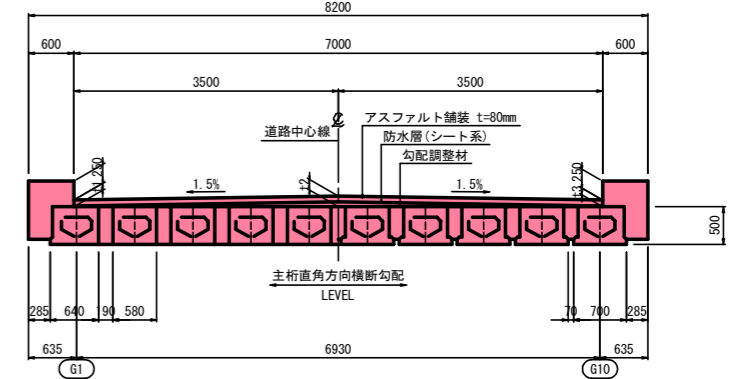


凡例

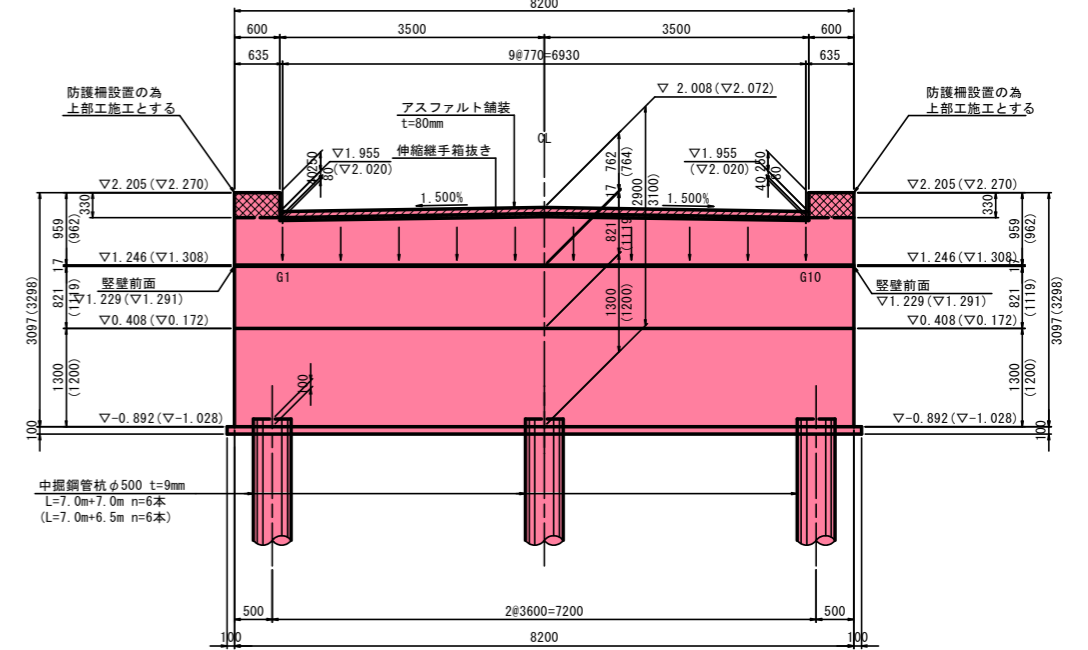
地質時代	地質区分	地層名	記号
新生代	第四紀	現世	盛土 B
		沖積第1砂層	As1
		沖積第1礫層	Ag
		沖積第2砂層	As2
		沖積第3砂層	As3
新第三紀	宮崎層群	砂岩泥岩互層	Ma1

勾配図	計画高	地盤高	追加距離	区間距離	測点
1.980	1.980	1.94	0.000	0.000	NO.0
1.980	1.980	1.98	3.000	3.000	+3.0
1.980	1.980	1.98	6.450	3.450	NO.0 +6.450
2.150	2.150	2.15	18.600	6.780	NO.0 +18.680
2.150	2.150	2.15	31.600	6.900	NO.1 +4.700 (A2橋台)
2.150	2.150	2.15	40.000	6.900	NO.2

上部工標準断面図 S=1:50

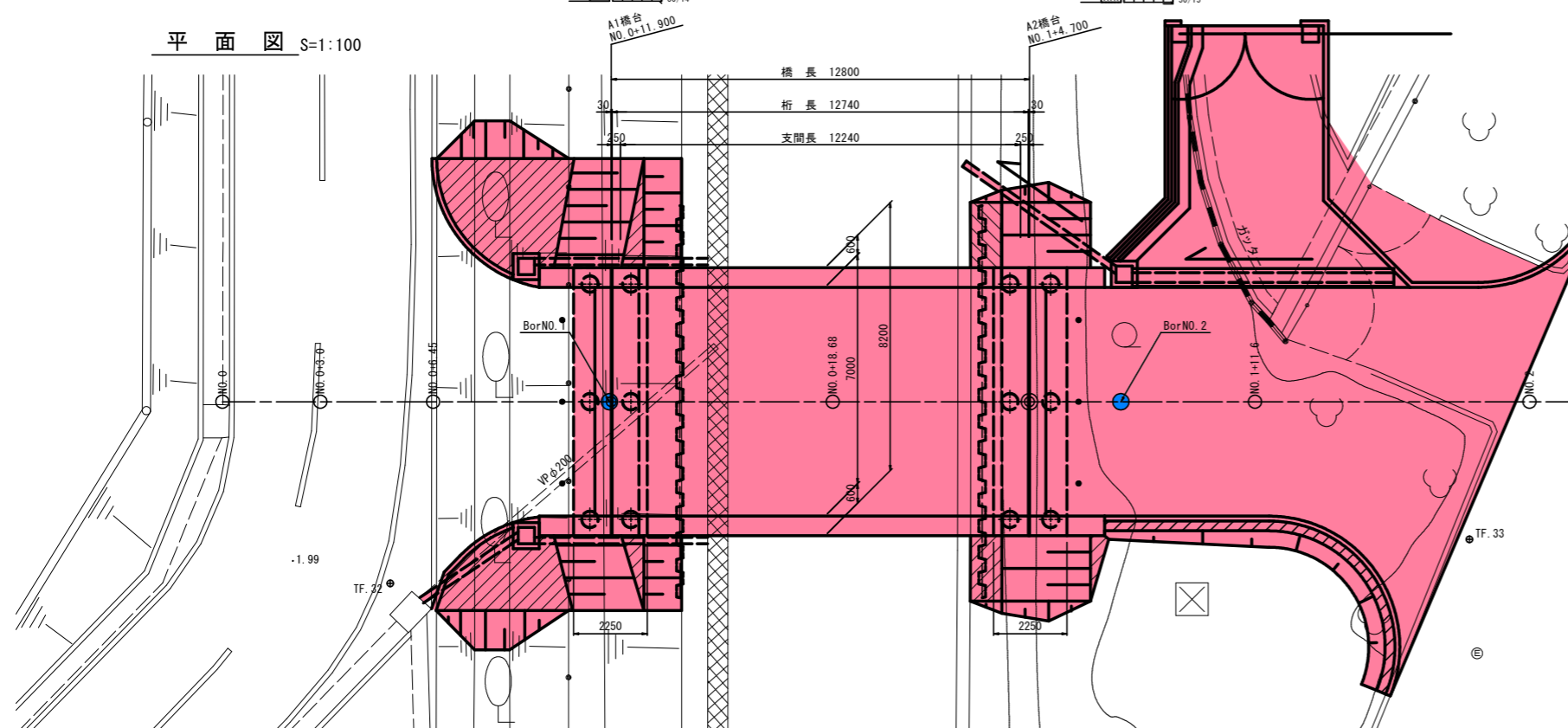


下部工標準断面図 S=1:50



()は、A2橋台の値を示す。()がない箇所は共通。

平面図 S=1:100



設計条件	
橋梁名	総合運動公園連絡橋
道路規格	園路(法定外道路)
設計速度	V=40km/h
平面線形	R=∞
縦断勾配	i=0.507%(A1 → A2)
横断勾配	i=1.500%(← →)
橋の重要度	B種の橋
橋長	12.800m
支間長	12.240m
幅員構成	7.00m(車道)
斜角	90°00'00"
橋の形式	プレテンション方式PC単純床版橋
活荷重	A活荷重
形式	橋台(A1・A2) : 逆T式橋台
	基礎 : 中掘鋼管杭φ500(最終打撃方式)
設計荷重	死荷重 : A1 : 750 kN, A2 : 750 kN
	活荷重 : A1 : 500 kN, A2 : 500 kN
設計震度(レベル1)	A1 : (躯体)K _h =0.21, (土砂)K _h =0.17 A2 : (躯体)K _h =0.20, (土砂)K _h =0.17
支持地盤	宮崎層群砂岩泥岩互層
コンクリートの設計基準強度	σ _{ck} =24N/mm ²
鉄筋	SD345
適用示方書	道路橋示方書・同解説 平成29年11月

実施設計 2/43

工事名	令和2年度 県単公園第3-6号 宮崎県総合運動公園 連絡橋 橋梁上下部工工事		
図面名	連絡橋全体一般図		
作成年月日	令和2年1月 日		
縮尺	図示	図面番号	2/43
会社名			
事業者名	宮崎県 宮崎土木事務所		